

1. 調査研究のテーマ、概要

調査研究のテーマ	探究型の学びによる人権教育の実現
----------	------------------

○調査研究のテーマを設定した目的

本校では、人権課題「同和問題」を中心に据え、全教育活動を通して、組織的・計画的に、人権教育の推進について研究、実践を行う。

また、現在の、多種多様な考え方が共存する世の中において、互いにコミュニケーションを取り合い、互いの納得解を見いだしながら、他者と共存・共生することのできる人間性を涵養することが、人権教育の目標である「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができるようになる」ことにつながるのではないかと考えた。

そこで、対話することを重視した探究型の学びを、学校の教育活動の中心に据えることにより、人権意識を培い、グローバル化した世界の中で生き抜く児童を育てたいと考え、調査研究のテーマを設定した。

○調査研究の概要

第5学年で地域の皮革産業について学び、第6学年で歴史的背景を調べたり、体験したりする学びを系統的に展開することで、自分自身との関わりから人権課題「同和問題」をはじめ、様々な人権課題についての正しい理解と認識を深めることができるようにする。その際、対話を通じた探究活動に重点を置くことで、自他の良さや大切さを認めようとする心情を育てる。

2. 基本情報

研究指定校の概要

○学校名

東京都台東区立浅草小学校

○これまでの研究指定等の状況

平成 30 年度 文部科学省「人権教育研究指定校事業」指定

○学級数

13 学級

○児童生徒数 (R.6.2.1)

全児童数：344 名

○URL

<https://www.taito.ed.jp/swas/index.php?id=1310221>

○指定理由

本校は、長年にわたり、人権教育を推進してきた。また、近年では、探究型の学習を研究主題として校内研究に取り組んでおり、探究型の学習を通して、学力の向上を図るとともに、主体的に学びに向かい、進んで互いの考えを聴き合い、尊重し合いながら学び続ける児童の育成を目指してきた。

そこで、対話を通して探究し続けることを通して人権教育を推進することで、偏見や差別について真剣に捉え、差別を許さない姿勢と態度を育んでいくことができると考え、人権教育研究指定校に指定した。

○取り組んだ人権課題について

該当するものに○印、最も主要な人権課題 1 つに◎印を付与

①子供	
②女性	
③高齢者	○
④障害者	○
⑤ <u>同和問題</u>	◎
⑥ <u>アイヌの人々</u>	○
⑦ <u>外国人</u>	○
⑧- 1 HIV 感染者等	
⑧- 2 <u>ハンセン病患者等</u>	
⑨刑を終えて出所した人	
⑩犯罪被害者等	
⑪インターネットによる人権侵害	○
⑫北朝鮮当局による拉致問題等	
⑬性的指向、性自認	
⑭その他（ ）	

3. 調査研究の内容等

○調査研究の内容

研究仮説を以下のように設定する。

問題解決的な学習・活動サイクル「浅草小探究モデル」を具現化すれば、主体的に学びに向かい、進んで互いの考えを聴き合い、尊重し合いながら学び続ける児童が育ち、新しい時代の人権教育が実現するであろう。

対話を通して課題を追究し、自己の学びを更なる課題追究へつなげていく過程で身に付けた資質・能力が、対立や葛藤を乗り越え、互いの人権を尊重し、理解し合う力になると考える。

そこで、以下の内容を実施する。

- ・「浅草小探究モデル」を生かした人権課題「同和問題（部落差別）」等を取り上げた授業実践及び研究協議
- ・教職員向けの人権課題に関するフィールドワーク、研修
- ・児童アンケートによる実態調査

○実施方法

◎「浅草小探究モデル」を生かした各学年の授業実践及び研究協議

探究の学習過程で、対話を重視することにより、コミュニケーション力を向上させ、他者と共に問題を解決しようとする意識を高める。

○個別的な視点からの取組

人権課題を取り上げた指導計画を、「浅草小探究モデル」を生かして学習し、人権課題に関わる差別意識の解消を目指す。

- ・第5学年 社会科「これからの工業生産とわたしたち」【人権課題：同和問題（部落差別）】
- ・第6学年 総合的な学習の時間「Welcome to 台東」【人権課題：同和問題（部落差別）】

○普遍的な視点からの取組

各教科等において、「浅草小探究モデル」に則した学習過程の手だてを講じた学習活動を行うことを通して、学力の向上と人権感覚や態度の向上を図る。

- ・第4学年 社会科「郷土の発展につくす」【人権課題：同和問題（部落差別）に関わる取組】

◎教職員向けの人権課題に関するフィールドワーク、研修

○地域の歴史を知り、教員の人権意識を高めるために、講師を招聘して、人権研修を実施する。

◎児童アンケートによる実態調査

○年間に2回、児童向けのアンケートを実施し、児童の実態把握と、変容を見取る。

4. 検証・評価・改善・普及

- ・人権教育の年間指導計画の見直しを行い、他教科等との関連と学年ごとの系統性を明確にすることで、計画的・系統的な人権教育を行う。
- ・「浅草小探究モデル」を活用し、個別的な視点からの取組と普遍的な視点からの取組についての研究授業及び提案授業を各学年1回ずつ行い、主体的に学びに向かい、進んで互いの考えを聴き合い、尊重し合いながら学び続ける児童が育っているか検証する。
- ・児童アンケートの「友達や自分の良さを見つける」「友達と仲良く過ごす」「困っている友達を助ける」等の項目について、変容を見取る。
- ・研究パンフレットを作成し、東京都内の人権尊重教育推進校や、各市区町村教育委員会に配布し、研究成果の普及を図る。
- ・委託期間終了後も、普遍的な視点からの取組及び個別的な視点からの取組を充実させ、地域の様々な教育資源を活用し、人権課題に関わる偏見や差別意識の解消に向けての教育実践について継続的に続けていく。

5. 人権教育に係る年間指導計画

令和5年度 第1学年

□ 普遍的な視点に関する指導内容 □ 保護者への働きかけに関する指導内容

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
概	人権教育に関わる学年目標を設定する。	児童理解を深め、教師と児童、児童相互の望ましい人間関係を築く。すべての児童の学校生活への適応を図る。			一人一人が、個性や能力を発揮して活躍できる場や機会を設定することにより、学級の一員として、認められているという存在感、安心感をもつことができるようにする。					1年間の学校生活を振り返り、自己の成長を確認させる指導をする。	
	言語環境の適正化を図り、教室・廊下の掲示物等を整え、教室環境の整備を図る。							朝の会（学年朝会）：1分間スピーチに取り組む。			
概	生活科「がっこうだいすき」学校の生活に慣れ、学校の約束やきまりを知る。	体育「鬼遊び」きまりを守り、友達と仲良く取り組む。	体育「マットを使った運動遊び」きまりを守り、友達と仲良く運動する。	生活科「きれいにさいてね」煙まきから、継続して世話をし、育てたり観察したりする。	国語「きたいなともだちのはなし」夏休みの出来事とその時の気持ちを、みんなの前で話す。	国語「じどうしゃくらべ」乗り物について順序にそって簡単な文章に書き、友達に知らせることができる。	体育「マットを使った運動遊び」順番やきまりを守り、友達と仲良く運動する。	生活科「かぞくここにこにだいきくせん」家の人といっしょに過ごす楽しさがわかる。	音楽「みんなで合わせて楽しもう」互いの歌声や楽器の音を聞き合う。	国語「どうぶつのおちやん」共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。	体育「ボールけりゲーム」規則を守り、仲良くゲームを行い、勝敗を素直に認める。
		節度、節制わがままをしない、規則正しい生活をする。	生命の尊さ生命を大切にしようとする。	国語「こんなことがあったよ」経験したことを文章に表現する。	生活科「たのしいあきいっしょ」植物や虫と自然へ目を向ける。	算数「かたちあそび」立体図形に親しむ。箱などの身の回りの具体物の概形をとらえ、立体図形の特徴や機能を知る。		生活科「このころのはなをさかせよう」心をこめて楽しく描き、友達と力を合わせて飾る。	生活科「もうすぐ2ねんせい」自分の成長に気付く。家族をはじめ様々な人とかわりに気付く。		
概	よりよい学校生活、集団生活の充実先生を敬愛し、学校の人々に親しんで、学級や学校の生活を楽しくする。	郷土愛郷土に親しみをもち、郷土を大切にすること。	親切、思いやり身近にいる人に温かい心で接し、親切にする。	公正、公平、社会正義自分の好き嫌いとらわれず接する態度を養う。	善悪の判断、自律自由と責任よいことと悪いことの違いをし、よいと思うことを進んで行う。	親切、思いやり身近にいる人に温かい心で接し、親切にしようとする態度を養う。	友情、信頼友達と仲よくし、助け合う。	規則の尊重約束やきまりを守り、みんなが使うものを大切にすること。	礼儀気持ちのよい挨拶、言葉遣い、動作などに心掛けて明るく愛する。	よりよい学校生活、集団生活の充実先生を敬愛し、学校の人々に親しんで、学級や学校の生活を楽しくする。	
その他	学級活動自分の1年間の目標を設定する。 保護者会学校の人権教育の目標や方針について説明する。	地域文化を学ぶ三社祭のことを学び、先人に対する尊敬の念をもつ。 特別活動全校遠足では、異学年との交流を行うことで、互いに認め合う態度を育てる。	特別活動自分のことを話すだけでなく、相手の話をしっかりと聞くことも大切であることを理解させる。 特別活動校内1分間スピーチ大会を行う。	特別活動クラス遊びを計画する。 運動会行事の準備や運動を通して、互いに認め合う態度を育てる。 元氣アップル大作戦基本的な生活習慣について、各家庭で見直す機会とする。	人権週間に向けた取組（人権標語） 児童会活動ユニセフ募金に参加することを通して、世界の子どもたちの状況について考える。	元氣アップル大作戦基本的な生活習慣について、各家庭で見直す機会とする。		元氣アップル大作戦基本的な生活習慣について、各家庭で見直す機会とする。 特別活動いじめをしない、させない、見過ごさない、見て見ぬふりをしない態度を育てる。	学級活動1年間を振り返り成長を確認し、進級に向けて新たな目標を考える。 特別活動校内1分間スピーチ大会を行う。 保護者会成果と課題について話し、次年度の方針を示す。 学校運営連絡協議会：学校の人権教育について評価し、今後の課題を検討する。		

令和5年度 第2学年

普遍的な視点に関する指導内容

保護者への働きかけに関する指導内容

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
目標	人権教育に関わる学年目標を設定する。	児童理解を深め、教師と児童、児童相互の望ましい人間関係を築く。すべての児童の学校生活への適応を図る。			一人一人が、個性や能力を発揮して活躍できる場や機会を決定することにより、学校の一員として、望められているという存在感、安心感をもつことができるようにする。					1年間の学校生活を振り返り、自己の成長を確認させる指導をする。	
	言語環境の適正化を図り、教室・廊下の掲示物等を整え、教室環境の整備を図る。朝の会（学年朝会）：1分間スピーチに取り組む。										
教科	体育「走の運動遊び」 順番やきまりを守って、友達と仲良く取り組む。	算数「たし算のしかたを考えよう」 2位数の加法の計算の仕方について考える中で、算道を立てて考える能力を高める。	生活科「ときどきわくわくまちたんけん」 自分たちの生活に様々な人々や場所がかかわっていることが分かり、地域によさに気付く。	生活科「春だ今日から2年生」 上級生として、新1年生に親切に接しようとする。	生活科「ぐんぐん そだて わたしの 野さい」 野菜を育てる活動を通して、成長の変化や命のあることに気付く。	国語「あつたらいいな、こんなもの」 あつたらいいなと思うものを理由を添えて話したり、友達のを考えを聞いたりすることができる。	国語「うごくうごくわたしの おもちや」 身近な自然や物を使って、遊びや遊びに使う物を工夫して作り、そのおもしろさや自然の不思議さに気付く、みんなで遊びを楽しむ。	生活科「もつとなかよしまちたんけん」 町の中の場所や人が大切な存在であることに気付く、親しみや愛着をもつ。身近な人々と相互に交流することの楽しさやよさを感ずることができる。	音楽「たがいの音をきこう」 互いの歌声や楽器の音を聴き合う。	算数「たし算とひき算」 加法と減法の相互関係を理解し、場面を表したテープ図を基に根拠をもって問題を解決することができる。	国語「すてきなところをつたえよう」 順序に気を付けて説明をしたり、説明を聞いたりする。
価値	よりよい学校生活、集団生活の充実 学校の人々に親しんで、学級や学校の生活を楽しくする。	礼儀 気持ちのよい挨拶、言葉遣い、動作などに心がけて明るく接する。	親切、思いやり 身近にいる人たちに温かい心で接し、親切にする。	生命の尊さ 生きることのすばらしさを知り、生命を大切にすること。	友情、信頼 友達と仲良くし、助け合う。	伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 郷土の文化と生活に親しみ、愛着をもつ。	善悪の判断、自律、自由と責任 よいことと悪いことの区別をし、よいと思うことを進んで行う。	正直、誠実 嘘をついたりごまかしたりしないこと、素直にのびのび生活する。	規則の尊重 約束やきまりを守り、みんなが使うものを大切にすること。	家族愛、家庭生活の充実 父母、祖父母を敬愛し、進んで家の手伝いなどを行う。	希望と勇気、努力と強い意志 自分のやるべき勉強や仕事をしっかり行う。
その他	学級活動：自分の1年間の目標を設定する。 保護者会：学校の人権教育の目標や方針について説明する。	地域文化を学ぶ：三社祭のことを学び、先人に対する尊敬の念をもつ。 特別活動：全校遠足では、異学年との交流を行うことで、互いに認め合う態度を育てる。	特別活動：校内1分間スピーチ大会を行う。 特別活動「リバーサイド学園との交流」 外国人留学生との交流を通して国際理解を図る。	運動会：行事の準備や運動を通して、互いに認め合う態度を育てる。 元氣アップル大作戦：基本的な生活習慣について、各家庭で見直す機会とする。 ふれあい給食：祖父母を招いて会食をする。	児童会活動：ユニセフ募金に参加することを通して、世界の子供の状況について考える。	特別活動：自分のことを話すだけでなく、相手の話をしっかり聞くことも大切であることを理解させる。	元氣アップル大作戦：基本的な生活習慣について、各家庭で見直す機会とする。 特別活動：いじめをしない、させない、見過ごさない、見て見ぬふりをしない態度を育てる。	元氣アップル大作戦：基本的な生活習慣について、各家庭で見直す機会とする。 特別活動：校内1分間スピーチ大会を行う。	学級活動：1年間を振り返り成長を確認し、進級に向けて新たな目標を考える。	保護者会：成果と課題について説明し、次年度の方向性を示す。 学校運営連絡協議会：学校の人権教育について評価し、今後の課題を検討する。	

令和5年度 第3学年

普遍的な視点
に関する指導内容

保護者への働きかけ
に関する指導内容

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
概	人権教育に関わる学年目標を設定する。	児童理解を深め、教師と児童、児童相互の望ましい人間関係を築く。すべての児童の学校生活への適応を図る。			一人一人が、個性や能力を発揮して活躍できる場や機会を設定することにより、学校の一員として、認められているという存在感、安心感をもつことができるようにする。					1年間の学校生活を振り返り、自己の成長を確認させる指導をする。	
概	言語環境の適正化を図り、教室・廊下の掲示物等を整え、教室環境の整備を図る。朝の会（学年朝会）：1分間スピーチに取り組む。										
概	体育「集団行動」 集団との関わりから、互いに協力し、秩序を守ろうとする態度を養う。	体育「ネット型ゲーム」 小グループでゲームに取り組み、互いに協力する意欲や態度を身に付ける。	社会「くつ工場たんけん」 地元のくつ職人の方から、製造工程やくつに対する思いを聞く。	社会「お店の人の仕事」 地域のスーパーマーケットを見学し、そこで働く人々の工夫や願いを聞く。	社会「火事をふせぐ」 警察の仕事と人々の協力、地域の安全な生活を守る活動をしている人たちの働きについて理解する。	理科「電気の通り道」 電気の回路について実験技術を身に付けるとともに問題を見出す力や主体的に問題解決しようとする態度を養う。	図画工作「集めてならべてマイコレクション」 質感の違う材料を集めて互いのコレクションのよさを気付かせるようにする。	社会「台東区のうつりかわり」 台東区の交通や土地利用、生活の変化の様子などについて、資料やインタビューを通して、自分たちの地域への興味をもつ。	算数「倍の計算」 数量の関係や倍の意味について理解し、比較量や差、割合を求められるようにする。	国語「わたしたちの学校じまん」 自分たちの学校や地域の自慢したいことについて資料を集め、発表する。	
道	親切、思いやり 相手のことを思いやり、進んで親切にする。	友情、信頼 友達と互いに理解し、信頼し、助け合う。	正直、誠実 過ちは素直に認め、正直に明るく生きて生活する。	家族愛、家庭生活の充実 父母、祖父母を敬愛し、家族みんなで協力しあって、楽しい家庭をつくる。	善悪の判断、自律、自由と責任 正しいと判断したことは、自信をもって行う。	よりよい学校生活、集団生活の充実 先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合って楽しい学校や学校をつくる。	勤労、公共の精神 働くことの大切さを知り、すすんでみんなのために働く。	生命の尊さ 生命の尊さを知り、生命あるものを大切にする。			
習	地域の安全 「安全第一浅草の町～学校編～」 浅草小学校の校内や周辺の様子を調べることを通して、安全を守る工夫や人々の思いに気づき、安全に生活するために自分たちでできることを考え、行動することができる。										
習	地域の安全 「安全第一浅草の町～地域編～」 浅草小学校の校内や周辺の様子を調べることを通して、安全を守る工夫や人々の思いに気づき、安全に生活するために自分たちでできることを考え、行動することができる。										
習	伝承遊び（紙芝居、かるた） 台東区に昔から伝わる昔話を聞いたり、台東かるたで遊んだりして地域に興味をもつ。										
習	外国語に親しもう A L T の先生と英語を通じて、コミュニケーションを図ろうとする態度を身に付ける。										
習	学級活動：自分の1年間の目標を設定する。	地域文化を学ぶ： 三社祭のことを学び、先人に対する尊敬の念をもつ。	特別活動：全校遠足では、異学年との交流を行うことで、互いに認め合う態度を育てる。	特別活動：相手の動きや表情をよく見たり、聞いたりして、相手が話したいことを知ろうとすることも大切であることを理解させる。	特別活動：校内1分間スピーチ大会を行う。	人権週間に向けた取組（人権標語）	特別活動：いじめをしない、させない、見過ごさない、見て見ぬふりをしない態度を育てる。	特別活動：校内1分間スピーチ大会を行う。	学級活動：1年間の学校生活を振り返り自己の成長を確認し、進級に向けて新たな目標を考える。	保護者会：成果と課題を説明し、次年度の方針性を示す。	
習	保護者会：学校の人権教育の目標や方針について説明する。		国際理解 外国人留学生との交流を通して国際理解を図る。		運動会：行事の準備や運動を通して、互いに認め合う態度を育てる。	児童会活動：ユニセフ募金に参加することを通して、世界の子供の状況について考える。		元氣アップル大作戦：基本的な生活習慣について、各家庭で見直す機会とする。	元氣アップル大作戦：基本的な生活習慣について、各家庭で見直す機会とする。	学校運営連絡協議会：学校の人権教育について評価し、今後の課題を検討する。	

令和5年度 第4学年

個別的な視点（人権課題）に関する指導内容
普遍的な視点に関する指導内容
保護者への働きかけに関する指導内容

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
概	人権教育に関わる学年目標を設定する。	児童理解を深め、教師と児童、児童相互の望ましい人間関係を築く。すべての児童の学校生活への適応を図る。			一人一人が、個性や能力を発揮して活躍できる場や機会を設定することにより、学級の一員として、認められているという存在感、安心感をもつことができるようにする。				1年間の学校生活を振り返り、自己の成長を確認させる指導をする。		
	言語環境の適正化を図り、教室・廊下の掲示物等を整え、教室環境の整備を図る。										
	朝の会（学年朝会）：1分間スピーチに取り組む。										
教	体育「集団行動」 集団との関わりから、互いに協力し、秩序を守ろうとする態度を養う。	体育「表現運動」 表現運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方を知るとともに、身近な生活などの題材から主な特徴や感じを捉え、表したい感じを人混れの動きで即興的に表わすことができる。				音楽「旋律の重なりを感じよう」 互いの歌声や楽器の音を聴き合いながら、気持ちを合わせて演奏できるようにする。			算数「面積のはかり方と表し方」 面積の概念や測定の意味について理解するとともに、長方形、正方形の面積の求め方を理解する。また、公式などを用いて面積を求めることができる。		
	社会「わたしたちの東京都」 東京都の位置、全体の地形、産業の分布、交通網などに着目して、地理的環境の概要を理解し、特色を考える。	社会「住みよいくらしをつくる」 供給の仕組みや経路、都内外の人々の協力などに着目して、自分たちに協力できることを考えようとする態度を養う。	理科「わたしたちの体と運動」 人間の体のつくりと動き方を調べることを通して、生命を尊重する態度を育てる。	国語「クラスみんなで決めるには」 役割を認識しながら話し合い、多くの人が納得できる結論を導き出せるようにする。	社会「郷土の発展につくす」 本域の人々の生活の向上のために尽くした先人の働きを調べ、願いや工夫、努力、苦心を考える。			図画工作「絵から聞こえる音」 絵を鑑賞して互いの感じ方の違いを味わったり楽しんだりする。			
					体育「育ちゆく体とわたし」 体は年齢に伴って変化すること、発育・発達には個人差があることを学び、自分も友達も大切にすることを育てる。			社会「特色ある地いきと人々のくらし」 都内の特色ある地域では、人々が協力し、特色あるまちづくりや産業の発展、環境について考える。			
道	善悪の判断、自律、自由と責任 よいことと悪いことを自分で判断し、行動しようとする心構えを育てる。	規範の尊重 社会生活の中のモラルの在り方について考えようとする心構えを育てる。	公正、公平、社会正義 皆様の友達関係を直視し、公平に接しようとする態度を養う。	節度、節制 よく考えて行動し、節度のある生活をする心構えを育てる。	友情、信頼 友達と互いに理解し信頼し、助け合う。	規範の尊重 社会生活の中のモラルの在り方について考えようとする心構えを育てる。	国際理解、国際観音 他国の文化に関心をもち、親しもうとする心構えを育てる。	相互理解、寛容 相手の考えも聞いて理解し、相手の気持ちも考えようとする。	親切、思いやり 困っている人のことを思いやり、類似しようとする。	家族愛、家庭生活の充実 父母・祖父母を敬愛し、家族みんなで協力し合って楽しい家庭を作る。	
養育の関	心のバリアフリーをめざして（高齢者）：福祉 3年生での地域学習を生かし、高齢者の方々と交流を通して、他者と関わり合いながら、身の回りの福祉との関係に気づき、自分でできることを考え、実践することができる。				心のバリアフリーをめざして（障害者）：福祉 前半での高齢者の方々と交流を生かし、障害者の方々と交流を通して、「共に生きる」ために自分達ができることを考え、行動することができる。						
国際	外国語に親しもう AILTの先生と英語を通して、コミュニケーションを図ろうとする態度を身に付ける。										
その他	学級活動：自分の1年間の目標を設定する。 保護者会：学校の人権教育の目標や方針について説明する。	地域文化を学ぶ 三社祭のことを学び、先人に対する尊敬の念をもつ。	特別活動：全校満足では、異学年との交流を行うことで、互いに認め合う態度を育てる。 国際理解 外国人留学生との交流を通して国際理解を図る。	運動会： 行事の準備や運動を通して、互いに認め合う態度を育てる。 特別活動：校内1分間スピーチ大会を行う。 元氣アップ大作戦：基本的な生活習慣について、各家庭で見直す機会とする。	人権週間に向けた取組（人権課題） 児童会活動：ユニセフ基金に参加することを通して、世界の子供の状況について考える。			元氣アップ大作戦：体力の保持・増進について各家庭で見直す機会とする。 特別活動：いじめをいじめない、いじめをいじめない、いじめをいじめない。夏で見えぬふりをしない態度を育てる。【子供】	特別活動：校内1分間スピーチ大会を行う。 学級活動：1年間の振り返り成長を確認し、進級に向けて新たな目標を考える。 保護者会：成果と課題について説明し、次年度の方向性を示す。 学校運営連絡協議会：学校の人権教育について評価し、今後の課題を検討する。		

令和5年度 第5学年

價別的な視点（人権課題）
に関する指導内容

普遍的な視点
に関する指導内容

保護者への働きかけ
に関する指導内容

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
■	人権教育に関わる学年目標を設定する。	児童理解を深め、教師と児童、児童相互の望ましい人間関係を築く。すべての児童の学校生活への適応を図る。			一人一人が、個性や能力を発揮して活動できる場や機会を設定することにより、学校の一員として、認められているという存在感、安心感をもつことができるようにする。					1年間の学校生活を振り返り、自己の成長を確認させる指導をする。	
	言語環境の適正化を図り、教室・廊下の掲示物等を整え、教室環境の整備を図る。										
	朝の会（学年朝会）：1分間スピーチに取り組む。										
■	体育「集団行動」 集団との関わりから、互いに協力し、秩序を守ろうとする態度を養う。	理科「植物の発芽と成長」 植物を見てやることを通じて、科学的な見方や考え方を養い、植物を大切にしようとする心情を養う。		社会「くらしを支える食料生産」 我が国の食料生産と外国のつながりを考える。	国語「どちらを選びますか」 素直に証すことや相手の意図をつかみながら聞くことを通じて豊かな人間関係を育てる。	社会「これからの工業生産とわたしたち」 我が国の工業生産と外国のつながりを考える。	算数「図形の角」 図形の性質について調べる活動を活かし、感じたことを話し合えるようになる。	図工「比べてみよう」 美術作品を鑑賞してよきや違いを見つけ、感じたことを話し合えるようになる。	社会「情報を生かすわたしたち」 情報送ったり受け取ったりした時はメディアリテラシーを、情報の有効利用には情報モラルを大切にしようという態度を育てる。【インターネットによる人権侵害】	体育「サッカー」 公正にゲームに取り組め、互いに協力を意識や態度を身に付ける。	
	家庭科「私の生活大発見」 家族に対して、感謝の念をもつとともに、日頃の自分の関わりを振り返れるようにする。				体育「心の健康」 人とのかかわりを通して心の不安や悩みに対処できることを知り、生活に生かす。				音楽「日本の音楽に親しもう」 日本の音楽の特徴を感じ取りながら、よさを味わい、興味・関心を深める。	理科「人の誕生」 人の誕生の学習を通して、命の尊さに気付かせ、生命を尊重しようとする態度を育てる。	
■	より良い学校生活、集団生活の充実 高学年としての役割を自覚し責任を果たそうとする態度を養う。	相互理解、寛容 相手の立場や気持ちを考え、過ちをゆるそうとする態度を養う。	公正、公平、社会正義 差別や偏見に向き合い、社会正義の実現について考えようとする態度を養う。【外国人】	親切、思いやり 誰に対しても相手の立場を思いやる心が伴った適切な行為を実践しようとする態度を養う。	友情、信頼 男女が互いに理解し、信頼し合い、協力して学び合う真の友情関係をもたうとする態度を養う。	国際理解、国際貢献 進んで他国のの人となつながらとうする態度を養う。	生命の尊さ 人々の生命を守り強こうとする人間の姿の尊さを感じ、生命を尊重しようとする心構えを育てる。	公正、公平、社会正義 進んで対峙しても差別をすることや偏見をもつことなく、公正、公平な態度で接する。【子供】	相互理解、寛容 自他の違いを認め、広い心で相手を受け入れる態度を養う。	よりよい学校生活、集団生活の充実 様々な集団の意義や集団の中での自分の役割と責任を自覚して集団生活の充実に努める。	生命の尊さ 自分の命を大切にして力強く生きようとする心構えを育てる。
■	食べよう プロジェクト ～見直そう・広めよう・自分たちの食生活～ 給食の残量調べをしたり、学校栄養士の方から話を聞いたりして給食にかかわる人の思いや給食のよさについて考える。 自分の食生活を選べたり食事の大切さを伝えたりする活動を通して健康に過ごすという思いをもつ。										
	インターネットとの付き合い方を考えよう インターネットの便利な点や、インターネットにおける人権侵害について調べる活動を通して、SNSを活用する際のルールやきまりの大切さを実感し、自分たちでSNSのルールを考え、実践する。【インターネット・ネットによる人権侵害】										
■	外国語「言語活動、話すこと」 外国人と積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付ける。										
■	学級活動： 自分の1年間の目標を設定する。	地域文化を学ぶ 三社堂のことを学び、先人に対する尊敬の念をもつ。	学級活動：いじめとは何かを理解し、いじめを絶滅させない新術となる態度を身に付ける。【子供】	運動会： 行事の準備や運動を通して、互いに励み合う態度を育てる。	元氣アップ大作戦： 基礎的な生活習慣について、各家庭で見直す機会とする。	児童会活動：ユニセフ募金に参加し、世界の子ども達の状況について考える。	元氣アップ大作戦： 体力の保持・増進について各家庭で見直す機会とする。	特別活動：校内1分間スピーチ大会を行う。	学級活動：1年間の学校生活を振り返り自己の成長を確認し、進路に向けて新たな目標を考える。		
■	1年生を迎える会： 協力して1年生を迎える。	全校遠足：異学年との交流を行うことで、互いに認め合う態度を育てる。	特別活動：校内1分間スピーチ大会を行う。						6年生を送る会： 感謝の心を込めて6年生を送る。		
■	保護者会：学校の人権教育の目標や方針について説明する。		国際理解 外国人留学生との交流を通して、互に理解を図る。						学校運営連絡協議会：学校の人権教育について評価し、今後の課題を検討する。		
■											
■											
■											
■											
■											
■											
■											
■											
■											
■											
■											
■											
■											
■											
■											
■											
■											
■											
■											
■											
■											
■											
■											
■											
■											
■											
■											
■											
■											
■											
■											
■											
■											
■											
■											
■											
■											
■											
■											
■											
■											
■											
■											
■											
■											
■											
■											
■											
■											
■											
■											
■											
■											
■											
■											
■											
■											
■											
■											
■											
■											
■											
■											
■											
■											
■											
■											
■											
■											
■											
■											
■											
■											
■											
■											
■											
■											
■											
■											
■											
■											
■											

令和5年度 第6学年

個別的な視点（人権課題）に関する指導内容

普遍的な視点に関する指導内容

保護者への働きかけに関する指導内容

4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人権教育に関わる学年目標を設定する。	児童理解を深め、教師と児童、児童相互の望ましい人間関係を築く。すべての児童の学校生活への適応を図る。			一人一人が、個性や能力を発揮して活躍できる場や機会を設定することにより、学級の一員として、認められているという存在感、安心感をもつことができるようにする。			1年間の学校生活を振り返り、自己の成長を確認させる指導をする。			
言語環境の適正化を図り、教室・廊下の掲示物等を整え、教室環境の整備を図る。朝の会（学年朝会）：人権に関する1分間スピーチに取り組む。										
体育「集団行動」 集団との関わりから、互いに協力し、秩序を守ろうとする態度を養う。	家庭科「朝食から健康な1日の生活」 健康な生活を送るために、朝食の役割を考え、生活をよりよくする実践態度を養う。	理科「生物どうしの関わり」 人や他の動物や植物と空気、食べ物、水との関わりに興味をもち、人は自然環境と関わりながら生きていることを理解する。	社会「武士の世の中へ」 平氏の政治の進め方について何が問題だったかを話し合う。	社会「明治の国づくりを進めた人々」 厳しく差別されていた人々は「解放令」によって、平民とされたが、実質的な差別はなくなかったことを理解する。 【国制問題（解禁差別）】	国語「大切にしたい言葉」 自分が大切にしたい言葉について、書き表し方を工夫して人に伝えられるようにする。	体育「病気の予防」 喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は、健康を損なう原因となることを理解できるようにする。	理科「生物と地球環境」 地球環境の大切さと生き物とのかわりについて考えることができるようにする。	体育「サッカー」 公正にゲームに取り組み、互いに協力する意欲や態度を身に付ける。		
社会「わたしたちのくらしと日本国憲法」 基本的な人権の尊重にもとづいて行われている身近な取り組みは、国民の生まれながらの権利を保障するものがあることを理解する。	国語「聞いて、考えを深めよう」 話し手の目的や自分が関心こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができる。	算数「比例と反比例」 身の回りから比例関係にある2つの数量を見出して、筋道を立てて問題を解決することができる。	図画工作「学校へようこそ」 学校の場所を生かして、来る人を楽しませるアイデアを工夫して活動を楽しむようにする。	音楽「日本や世界の音楽に親しもう」 日本や世界の国々の音楽の特徴を感じ取りながら、そのよさを味わいそれらの音楽への興味・関心を広げる。	社会「新しい日本、平和な日本へ」 産業の発達や暮らしの向上を背景に、差別の解消や女性の地位の向上などの運動が盛んになったことを理解する。【女性】					
個性の伸長 自分の特徴を知って、短所を改め長所を伸ばす。	友情、信頼 友達と互いに信頼し、学びあって友情を深め、異性についても理解しながら、人間関係を築いていく。	公正、公平、社会正義 誰に対しても差別することや偏見をもつことなく、公正、公平な態度で接し、正義の実現に努める。【子供】	善悪の判断、自律、自由と責任 自由を大切にし、自立的に判断し、責任ある行動をする。	希望と勇気、努力と強い意志 困難な状況でも希望を持つことを忘れずに努力し続けることの素晴らしさを知る。	よりよく生きる喜び よりよく生きようとする人間の強さや気遣いを理解し、人間として生きる喜びを感じる。	親切、思いやり 誰に対しても思いやりの心をもち、相手の立場に立って親切にする。	相互理解、寛容 自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、謙虚な心をもち、広い心で自分とは異なる意見や立場を尊重する。			
「Welcome to 台東」 浅草小や台東区を調べることを通して、自分が育っている地域に誇りを持ち、台東区をさらによくしていくための取り組みを考えて実践することができる。										
「アイヌの人々の歴史や伝統、文化から学ぼう」 アイヌの人々が大切にしていた歴史や伝統、文化について正しく理解し、アイヌ文化の伝承に関する具体的な取組を考えるとともに、自らの生活や行動に生かすことができる。【アイヌの人々】										
外国語「言語活動、話すこと」外国人と積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付ける。										
学級活動：自分の1年間の目標を設定する。 保護者会：学校の人権教育の目標や方針について説明する。	地域文化を学ぶ： 三社祭のことを学び、先人に対する尊敬の念をもつ。	特別活動：全校遠足では、異学年との交流を行うことで、たがいに認めあう態度を育てる。	運動会： 行事の準備や運動を通して、互いに認め合う態度を育てる。	学級活動：いじめとは何かを理解し、いじめを絶対許さない断固たる態度を身に付ける。【子供】	元気アップ大作戦： 体力の保持・増進について各家庭で見直す機会にする。	特別活動：校内1分間スピーチ大会を行う。	学級活動：1年間の学校生活を振り返り、自己の成長を確認し、中学校進学に向けて新たな目標を考える。			
	国際理解 外国人留学生との交流を通して、国際理解を深める。		特別活動：校内1分間スピーチ大会を行う。	人権週間に向けた取組（人権標語）	学級活動：いじめとは何かを理解し、いじめを絶対許さない断固たる態度を身に付ける。【子供】	特別活動：コミュニケーションを取ることで、互いに意図や感情、思惑を伝え合うことや新たな考えに気付いたり、考えを深めたりできることを理解させる。	学級活動：1年間の学校生活を振り返り、自己の成長を確認し、中学校進学に向けて新たな目標を考える。			
			元気アップ大作戦：基本的な生活習慣について、各家庭で見直す機会にする。	児童会活動：ユニセフ募金に参加することを通して、世界の子供の状況について考える。			学校運営連絡協議会：学校の人権教育について評価し、今後の課題を検討する。			

6. 推進体制（都道府県・指定都市教育委員会を含む）

